



2020年8月7日

各 位

会社名 日本 KFC ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 近藤 正樹
(コード番号 9873 東証第2部)
問合せ先 取締役専務執行役員 金原 俊一郎
TEL.(045)-307-0605

2021年3月期通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月13日に公表しました「2020年3月期決算短信[日本基準] (連結)」において未定としておりました2021年3月期通期業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	85,000	5,000	未定	未定	未定
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	79,634	4,785	3,252	1,533	68円62銭

2. 通期連結業績予想公表の理由

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的な業績予想の算出を行うことが困難なことから未定としておりました。

主力のケンタッキーフライドチキン (KFC) においては、強みであるテイクアウトやドライブスルー、これらに加えて強化させているデリバリー需要の高まり等により、当第1四半期連結会計期間では、既存店売上高が前年同期比21.2%増、既存店客数が同1.4%増と好調に推移いたしました。

第2四半期以降も、「今日、ケンタッキーにしない？」をキーメッセージに、日常化の推進、新商品開発、引き続きテイクアウト、ドライブスルー及びデリバリーの強化により前年を上回る売上高を見込んでおり、2021年3月期（連結）の売上高を850億円、営業利益を50億円と予想しております。

他方、当社の持分法適用関連会社においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、当第1四半期連結会計期間では、店舗の一時休業及び営業時間の短縮を余儀なくされ、売上高が減少し厳しい経営環境が続きました。期の後半にかけて売上高は回復するものと見込んでおりますが、現時点で合理的な業績予想の算出が困難なことから、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、引き続き未定としております。今後、合理的な予想が可能となった時点で公表いたします。

3. 配当予想

	年 間 配 当 金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想	—	—	—
今回予想	25 円 00 銭	25 円 00 銭	50 円 00 銭
当期実績	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	25 円 00 銭	25 円 00 銭	50 円 00 銭

4. 配当予想公表の理由

配当金につきましては、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、安定的な配当を継続的に実施することを基本方針としております。この方針に基づき、2021年3月期配当につきましては、前期と同様に年間配当金50円と予想しております。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上